

# 財政規則審査会議 事業計画

財政規則審査会議 議長 荒蒔 篤嗣

在籍年数の低下から公益法人格の知識強化が急務であり、公益社団法人としての責任を自覚する機会が訪れている今、メンバーの意識改革や知識向上を通じて公益社団法人としての信頼性を向上し続けることが重要となっています。我々は時代に合わせた組織としての活動に向けて、知識向上の機会や明瞭な資金運営と確立された規則遵守による透明性のある運営を通じて、県内唯一の公益法人格をもつLOMの責任を自覚する必要があります。

まずは、公私ともに最大限のスキルを発揮しインパクトのある活動を行うメンバーとなるために、委員会メンバーを対象とした専門知識を向上させるセミナーを開催することで、外部資金を考慮した事業計画や社業の財政面、規則面の強化につながります。さらに、各事業の限られた予算の中で目的達成に向けた最大の効果が発揮する運動に繋げるために、各委員会の予算と決算を、費用対効果や相対的な支出の視点から明瞭な財政審査を行うことで、LOMにおける適切な予算管理の体制が整います。そして、長年に渡って築き上げられてきたLOMのブランドを変わず保持し続けるために、LOMのルールや社会的なモラルを守った厳格なコンプライアンス審査を実施することで、堅実な組織へ成長し、各LOMや地域からさらに信頼を獲得できるようになります。また、個人の成長によって地域から信頼され持続可能な運動を展開し続けるために、関係省庁から認められた我々が担っている役割や義務を理解し、公益社団法人としての責任を自覚することで、一人ひとりが得たスキルを効果的に反映させ、より公益性のある事業や運動を行うことができます。

明瞭な資金運営と高いブランドをもとに透明度の高い組織運営が確立され、一人ひとりが財政面、規則面を理解した高いレベルの活動ができるLOMとなった我々は、更に地域から信頼や運動に対する共感が得られる持続可能な社会的公益を実現する組織となります。

## <事業計画>

1. 個々の自己成長に繋げるセミナーの開催
2. 財政審査会議での明瞭な資金運営審査
3. コンプライアンス審査会議での規則を重んじた審査
4. 将来性を見据えた公益法人自覚事業の開催